

大分県電子入札立会要領

(趣旨)

- 1 この要領は、大分県が行う電子入札において、地方自治法施行令（昭和22年5月3日政令第16号）第167条の8第1項（同令第167条の13の規定により準用する場合を含む。）に規定する立会に関して必要な事項を定めるものとする。

(開札における立会)

- 2 電子入札に参加した者は、開札の立会ができるものとする。
なお、立会を希望する場合には、入札書提出締切日時までに契約担当者に立会を希望する旨を申し出なければならない。
また、紙入札を行うことが承認された者については、原則として、開札に立ち会わなければならないものとする。

(立会者の確認)

- 3 立会者は、開札が適正に執行されたかどうかについて確認を行うものとする。

(システムへの署名)

- 4 立会者は、上記4の確認後に電子入札システムへ署名を行わなければならないものとする。なお、立会者が複数の場合は、発注者が指名した者（1名）が署名を行うものとする。

(随意契約の取扱い)

- 5 随意契約における見積書開封時の立会については、特段の定めがある事項を除き、本立会要領に定める取扱いに準じるものとする。

附則

この要領は、平成18年8月1日から施行する。

附則

この要領は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この要領は、平成23年7月19日から施行する。

附則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。